OMRON



平成17年3月期 第1四半期財務・業績の概況(連結)[米国会計基準] 平成16年7月29日

上 場 会 社 名 オムロン株式会社

 コード番号 6645
 上場取引所:東・大・名

 (URL http://www.omron.co.jp/)
 本社所在都道府県:京都府

代 表 者 役職名 取締役社長

氏名作田久男

問合せ先責任者 役職名 経営企画室 理財部長

氏 名 近 藤 仁

TEL(075)344-7070

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の : 有 引当金等の計上基準に一部簡便的な方法を採用して

与無 おります。

最近連結会計年度からの会計処理の方法の : 無

変更の有無

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有 (連結:新規3社、除外2社 持分法:新規1社、除外0社)

2. 平成17年3月期第1四半期財務・業績の概況(平成16年4月1日~平成16年6月30日)

注記:第1四半期財務・業績の概況および添付資料の金額は百万円未満を四捨五入しています。

(1)経営成績(連結)の進捗状況

	売 上	高	営	業 利	即	税	引	前	純	利	益
	百万円	3 %		百万円	9 %			Ĕ	万円]	%
17年3月期第1四半期	147,930	10.1		15,206	53.8		1	5,08	4		51.3
16年3月期第1四半期	134,382	14.9		9,886	-			9,96	7		-
(参考)16年3月期	584,889			51,403			4	7,98	4		

	四半期 (当期)純 利 益	基本的 1 株当たり 四半期(当期)純利益	希薄化後1株当たり 四半期(当期)純利益		
	百万円 %	円 銭	円銭		
17年3月期第1四半期	9,605 58.3	40 15	38 55		
16年3月期第1四半期	6,067 -	24 98	24 32		
(参考)16年3月期	26,811	110 66	107 53		

⁽注) 売上高、営業利益、税引前純利益、四半期(当期)純利益におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率

(2)財政状態(連結)の変動状況

(= /x32x x (= x =				
	総 資 産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
17年3月期第1四半期	596,041	291,443	48.9	1,218 01
16年3月期第1四半期	567,792	260,927	46.0	1,074 41
(参考)16年3月期	592,273	274,710	46.4	1,148 33

(3)連結キャッシュ・フローの状況

	H 47-1/1/10			
	営業活動による	投資活動による	財務活動による	現金及び現金同等物
	キャッシュ・フロー	キャッシュ・フロー	キャッシュ・フロー	期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
17年3月期第1四半期	10,689	5,379	3,528	96,962
16年3月期第1四半期	14,192	6,059	3,403	84,378
(参考)16年3月期	80,687	34,484	28,119	95,059

3. 平成17年3月期の連結業績予想(平成16年4月1日~平成17年3月31日)

	予想売上高	予想税引前純利益	予想当期純利益	基本的 1 株当たり 予想当期純利益	
	百万円	百万円	百万円	円 銭	
中間期	300,000	27,000	16,000	66 87	
通期	615,000	56,000	34,000	142 09	

上記連結業績予想の前提条件及びご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料の5~6ページをご参照下さい。

平成17年3月期第1四半期(第68期中) 連結業績概要

(単位:百万円、%)

						平成17年3月期第1四半期	平成16年3月期第1四半期	前年同期比
売	上高		上 高 147,930		147,930	134,382	110.1%	
営	Ì	業	利		益	15,206	15,206 9,886	
		(3	室)			(10.3%)	(7.4%)	(+2.9P)
税	引	前	純	利	猒	15,084	9,967	151.3%
		(3	室)			(10.2%)	(7.4%)	(+2.8P)
四	半	期	純	利	益	9,605	6,067	158.3%
基二四	本 的 半) 1 期	株)純	当 た 利	り益	40円15銭	24円98銭	+ 15円17銭

- (注)1.四半期業績数値については、監査法人によるレビューを受けておりません。
 - 2. 当社の連結財務諸表は米国会計基準に基づいて作成しております。
 - 3.連結子会社数は 136社、持分法適用関連会社数は13社です。

1.経営成績及び財政状況

全般的概況

当社グループの第1四半期(平成16年4月~6月)の経済情勢を概観しますと、世界経済は、原油価格の高騰やイラク情勢の混乱の長期化などの不安要因はありましたが、米国経済の底固い成長の持続や、中国をはじめとしたアジア経済の高い成長の維持により、引き続き好調に推移しました。また、わが国経済は企業の輸出や設備投資が好調に推移する一方、その好循環の影響が個人消費など家計部門にまで広がり、景気回復の持続性が増大しました。

このような経済環境のもと、当第1四半期における当社グループの売上高は、1,479 億30百万円(前年同期比10.1%増)と国内外における設備投資の底固い動きに支えられ、前年同期を上回る水準となりました。収益面においても、今後の成長に向けた基盤構築をすすめる一方で、売上高の増加と前期までの構造改革により定着した収益体質が持続し、営業利益は152億6百万円(前年同期比53.8%増)税引前純利益は150億84百万円(前年同期比51.3%増)四半期純利益は96億5百万円(前年同期比58.3%増)といずれも前年同期を上回る水準となりました。

セグメント別の状況

インダストリアルオートメーションビジネス

国内においては、半導体製造装置や自動車をはじめとする製造業での機械・装置の需要が好調に推移し、各種制御用機器の売上が大きく増加しました。海外においては、景気拡大が続く東南アジアと中華圏で半導体・FPD(フラットパネルディスプレイ)業界向け商品が好調に推移しました。また、北米においてはモーションコントロールや光電センサなどが、欧州においては基板検査装置やモーションコントロールが、それぞれ好調に推移しました。

以上より当セグメントの当第 1 四半期の売上高は、639 億 79 百万円(前年同期比 17.4%増)となりました。

エレクトロニクスコンポーネンツビジネス

国内においては、半導体業界向け各種組込み機器が好調に推移したほか、パチスロ業界向けコネクタの売上が大幅に伸びました。海外においては、世界的な携帯電話市場の好況を背景に携帯電話用 L E D ライトモジュールや F P C (フレキシブルプリンティッドサーキット)コネクタの売上が増加しました。また、通信インフラの急速な整備が図られている中国・欧州の I T業界や東アジアのエアコン業界向けの各種機器も好調に推移しました。

以上より当セグメントの当第 1 四半期の売上高は、248 億 34 百万円 (前年同期比 11.2%増)となりました。

オートモーティブエレクトロニックコンポーネンツビジネス

車載電装市場は、国ごとの増減はあるものの世界全体としては自動車販売台数の好調さ

を背景に引き続き需要の拡大が継続しています。しかしながら、競合の激化や価格の下落の継続に一部客先の不振が重なり、当セグメントの売上高は 149 億 13 百万円(前年同期比 2.2%増)となりました。

ソーシアルシステムズビジネス

電子決済システム事業は、ATM(現金自動預金支払機)や紙幣自動両替機の新紙幣発行対応としての更新や改造の売上の一部が、新紙幣発行時期の延期の影響により当期の第2四半期へ移行しました。しかし、駅務システム事業が電鉄各社の旅客サービス向上を目的とした主要機器の更新が当第1四半期へ前倒しされたこともあり、当セグメント合計の売上高は264億74百万円(前年同期比3.2%増)となりました。

ヘルスケアピジネス

国内では、体組成計や血圧計が引き続き好調に推移しました。特に体組成計は、商品宣伝の効果もあり大幅に売上を向上させることができました。海外では、北米において血圧計、歩数計が好調に推移しました。また、欧州においては血圧計の需要が堅調に推移、アジアではベトナム、インドネシアでの血圧計の売上が拡大するなど、血圧計を中心に引き続き好調に推移しました。この結果、当セグメントの当第1四半期の売上高は、123億76百万円(前年同期比5.8%増)となりました。

その他

その他のセグメントは、コンピュータ周辺機器事業での市場価格の低下、またエンタテインメント事業での業務用ゲーム機器の競合激化など厳しい状況が続きました。当第1四半期の売上高は、53億54百万円(前年同期比4.9%減)となりました。

財政状況

総資産は前期末に比べ 37 億 68 百万円増加して、5,960 億 41 百万円となりました。また、 株主資本は前期末に比べ 167 億 33 百万円増加し、2,914 億 43 百万円となりました。この 結果、株主資本比率は前期末の 46.4%から 48.9%になりました。

キャッシュ・フローの状況については、営業キャッシュ・フローが四半期純利益の増加の一方で、たな卸資産が前年同期比で増加した結果、106億89百万円のインフロー(前年同期比35億3百万円のインフロー減)となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、資本的支出が前年同期比で下回ったことや前年同期に京阪奈研究所設立の支払いがあったこともあり、53億79百万円のアウトフロー(前年同期比6億80百万円のアウトフロー減)となりました。また、財務活動によるキャッシュ・フローは、記念配当による支払配当の増加がありましたが、前年同期に比べ借入金の返済額が減少したこともあり、合計では当第1四半期は前年同期並みに推移し、35億28百万円のアウトフロー(前年同期比1億25百万円のアウトフロー増)となりました。

現金及び現金同等物の当第1四半期末残高は、前期末に比べ19億3百万円増加の969億62百万円となりました。

当期の業績見通し

第2四半期以降の経済環境の見通しは、全般としては雇用の緩やかな改善、株価上昇、消費マインドの改善などにより引き続き好調に推移するものと想定されます。しかしながら、イラク情勢の混乱の長期化や国際テロへの不安など、個人消費への悪影響が依然として懸念されることに加え、ここにきて米国や中国経済が夏場以降徐々に減速する可能性が高まってきております。

このような中、当社グループの売上高は、当期後半にかけての不透明感は残るものの第 1 四半期における好調さなどから中間期、通期とも当初の予想を上回り推移する見込みです。利益については、成長に向けた投資をさらに積極的に取り組みますが、売上高の増加にともない当初予想より増加する見込みです。つきましては、中間期及び通期の業績見通しについて次のとおり上方修正いたします。なお、中間期及び通期業績見通しにおける第 2 四半期以降の為替レートにつきましては、1米ドル 105 円、1ユーロ 130 円を前提としております。

【連結中間期業績予想数値の修正】

(単位:百万円、%)

	売上高	税引前純利益	中間純利益
前回発表予想(A) (平成 16 年 5 月 6 日発表)	289,000	21,000	12,000
今回修正予想(B)	300,000	27,000	16,000
増減額(B - A)	11,000	6,000	4,000
増減率(%)	3.8%	28.6%	33.3%
前中間期(15年9月期実績)	270,192	19,433	7,698

【単独中間期業績予想数値の修正】

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	中間純利益	
前回発表予想(A) (平成 16 年 5 月 6 日発表)	168,000	16,000	10,000	
今回修正予想(B)	177,000	21,000	12,000	
増減額(B - A)	9,000	5,000	2,000	
増減率(%)	5.4%	31.3%	20.0%	
前中間期(15年9月期実績)	163,218	7,180	4,137	

【連結通期業績予想数値の修正】

(単位:百万円、%)

	売上高	税引前純利益	当期純利益	
前回発表予想(A) (平成 16 年 5 月 6 日発表)	610,000	50,000	29,000	
今回修正予想(B)	615,000	56,000	34,000	
増減額(B - A)	5,000	6,000	5,000	
増減率(%)	0.8%	12.0%	17.2%	
前期(16年3月期実績)	584,889	47,984	26,811	

【単独通期業績予想数値の修正】

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益	
前回発表予想(A) (平成 16 年 5 月 6 日発表)	339,000	17,000	11,000	
今回修正予想(B)	337,000	23,500	13,500	
増減額(B - A)	2,000	6,500	2,500	
増減率(%)	0.6%	38.2%	22.7%	
前期(16年3月期実績)	351,075	13,065	6,273	

業績予想等は、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により、これら見通しとは大きく異なることがありえます。実際の業績等に影響を与えうる重要な要因には、() 当社の事業領域を取り巻く日本および海外の経済情勢、()当社製品・サービスに対する需要動向、()新技術開発・新商品開発における当社グループの能力、()資金調達環境の大幅な変動、()他社との提携・協力関係、()為替・株式市場の動向などがあります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

2. 四半期連結財務諸表等

比較連結損益計算書

(単位:百万円)

						<u>(単位:百万円)</u>
期	別	17年3月期第	1 四半期	16年3月期第	1 四半期	
				自平成15年 4	増 減 金 額	
			至平成16年 6 月30日		至平成15年 6 月30日	
科目		金 額	百分比	金 額	百分比	
			%		%	
売 上	高	147,930	100.0	134,382	100.0	13,548
売 上 原	価	86,821	58.7	81,186	60.4	5,635
売 上 総 利 益		61,109	41.3	53,196	39.6	7,913
販 売 費 及 び 一 般 管 理	費	34,802	23.5	33,665	25.0	1,137
試験研究開発	費	11,101	7.5	9,645	7.2	1,456
営 業 利 益		15,206	10.3	9,886	7.4	5,320
為 替 差 損(益) - 純 額	-	335	0.2	373	0.3	708
その他費用(収益)- 純額	頁 -	457	0.3	454	0.3	911
税引前純利益		15,084	10.2	9,967	7.4	5,117
法 人 税	等	5,431	3.7	3,887	2.9	1,544
少数株主 損	益	48	0.0	13	0.0	35
四半期純利益		9,605	6.5	6,067	4.5	3,538

四半期純利益にその他の包括利益を加えた包括利益は、以下のとおりです。

17年3月期第1四半期 16,626百万円 16年3月期第1四半期 9,333百万円

なお、その他の包括利益には、為替換算調整額、最小退職年金債務調整額、売却可能有価証券未実現損益、 デリバティブ純損益の増減額が含まれます。

比較連結貸借対照表

							<u>(単位:白力円)</u>
期別	17年3月期第	第1四半期	16年3月期第	第1四半期	16年 3	月期	増 減 金 額
	(平成16年6月]30日現在)	(平成15年6月30日現在)		(平成16年3月31日現在)		(17年 3 月期第 1 四半期
科目	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比	- 16年3月期)
		%		%		%	
(資産の部)							
流 動 資 産	316,264	53.1	284,988	50.2	316,226	53.4	38
現金及び現金同等物	96,962		84,378		95,059		1,903
受取手形及び売掛金	113,390		99,744		122,068		8,678
た な 卸 資 産	79,238		77,872		70,341		8,897
その他の流動資産	26,674		22,994		28,758		2,084
有 形 固 定 資 産	147,775	24.8	150,961	26.6	150,723	25.4	2,948
投資その他の資産	132,002	22.1	131,843	23.2	125,324	21.2	6,678
関 連 会 社 に 対 す る 投 資 及 び 貸 付 金	2,505		1,093		1,245		1,260
投 資 有 価 証 券	56,074		34,477		50,331		5,743
その他の資産	73,423		96,273		73,748		325
資 産 合 計	596,041	100.0	567,792	100.0	592,273	100.0	3,768

		%		%		%	
(負債の部)							
流 動 負 債	172,607	29.0	140,264	24.7	184,548	31.2	11,941
短期借入金及び1年以内 に返済予定の長期債務	44,983		30,942		45,480		497
支払手形及び 買掛金・未払金	75,422		62,828		79,345		3,923
その他の流動負債	52,202		46,494		59,723		7,521
長 期 債 務	11,390	1.9	40,713	7.2	11,207	1.9	183
その他の固定負債	119,050	19.9	123,420	21.7	120,361	20.3	1,311
少数株主持分	1,551	0.3	2,468	0.4	1,447	0.2	104
負債の部合計	304,598	51.1	306,865	54.0	317,563	53.6	12,965
(資本の部)							
資 本 金	64,099	10.8	64,082	11.3	64,082	10.8	17
資 本 剰 余 金	98,723	16.6	98,705	17.4	98,705	16.7	18
利 益 準 備 金	7,566	1.3	7,553	1.3	7,450	1.3	116
その他の剰余金	184,775	31.0	159,267	28.1	175,296	29.6	9,479
その他の包括利益累計額	43,538	7.4	56,643	10.0	50,559	8.6	7,021
自 己 株 式	20,182	3.4	12,037	2.1	20,264	3.4	82
資本の部合計	291,443	48.9	260,927	46.0	274,710	46.4	16,733
負債・資本合計	596,041	100.0	567,792	100.0	592,273	100.0	3,768

比較連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:日月)								
期別		第 1 四半期	16年3月期					
		¥4月1日	自平成15年4月1日		増減金額			
科目	至平成16年	₹6月30日	至平成15年 6 月30日					
 営業活動によるキャッシュ・フロー								
1. 四 半 期 純 利 益		9,605		6,067	3,538			
2. 営業活動によるキャッシュ・フローと								
四 半 期 純 利 益 の 調 整								
(1) 減 価 償 却 費	7,192		6,693					
(2) 投資有価証券及びその他の資産の減損	18		98					
(3) 受取手形及び売掛金の減少	10,790		12,505					
(4) た な 卸 資 産 の 増 加	7,714		1,770					
(5) 支払手形及び買掛金・未払金の減少	6,673		5,953					
(6) その他(純額)	2,529	1,084	3,448	8,125	7,041			
営業活動によるキャッシュ・フロー		10,689		14,192	3,503			
投資活動によるキャッシュ・フロー								
1. 資本的支出		5,738		8,239	2,501			
2.事業の売却及び買収(純額)		115		512	397			
3. そ の 他(純額)		244		1,668	1,424			
投資活動によるキャッシュ・フロー		5,379		6,059	680			
財務活動によるキャッシュ・フロー								
1.有 利 子 負 債 の 減 少		358		2,158	1,800			
2. 支 払 配 当 金		3,243		1,229	2,014			
3.自 己 株 式 の 取 得		12		16	4			
4. ストックオプションの行使		85		-	85			
財務活動によるキャッシュ・フロー		3,528		3,403	125			
換算レート変動の影響		121		271	392			
現金及び現金同等物の増減額		1,903		4,459	2,556			
期首現金及び現金同等物残高		95,059		79,919	15,140			
四半期末現金及び現金同等物残高		96,962		84,378	12,584			

3.セグメント情報

1. 事業の種類別セグメント情報

17年3月期第1四半期(自平成16年4月1日 至平成16年6月30日)

(単位:百万円)

	インタ [*] ストリアル オートメーション ヒ゛ シ゛ ネ ス		オートモーティフ゛ エレクトロニック コンホ゜ーネンツ ヒ゛ シ゛ ネ ス	7 1 T N 1	ヘルスケア ピシ゚ネス	その他	計	消 去 又 は 全 社	連結
売上高および営業損益									
(1)外部顧客に対する売上高	63,979	24,834	14,913	26,474	12,376	5,354	147,930	-	147,930
(2)セグメント間の内部売上高	1,469	6,048	753	2,895	37	9,966	21,168	(21,168)	-
計	65,448	30,882	15,666	29,369	12,413	15,320	169,098	(21,168)	147,930
営 業 費 用	52,727	26,584	15,944	29,246	10,090	14,784	149,375	(16,651)	132,724
営 業 利 益	12,721	4,298	(278)	123	2,323	536	19,723	(4,517)	15,206

- (注) 1. 「ソーシアルシステムズビジネス」には、ソーシアルシステムズ・ソリューション&サービス・ビジネスカンパニーおよびファイナンシャル・システムズ・ビジネスカンパニーなどが含まれます。
 - 2. 「その他」には、事業開発本部およびその他の部門が含まれます。

16年3月期第1四半期(自平成15年4月1日 至平成15年6月30日)

(単位:百万円)

	インタ [*] ストリアル オートメーション ヒ゛ シ゛ ネ ス	エレンレローンソ	オートモーティフ゛ エレクトロニック コンホ゜ーネンツ ヒ゛ シ゛ ネ ス	ソノエトノ	ヘルスケア ピシ゚ネス	その他	計	消 去 又 は 全 社	連結
売上高および営業損益									
(1)外部顧客に対する売上高	54,477	22,341	14,593	25,648	11,693	5,630	134,382	-	134,382
(2)セグメント間の内部売上高	1,714	5,219	210	2,028	6	12,849	22,026	(22,026)	-
計	56,191	27,560	14,803	27,676	11,699	18,479	156,408	(22,026)	134,382
営 業 費 用	48,093	23,444	14,447	28,362	9,781	18,540	142,667	(18,171)	124,496
営 業 利 益	8,098	4,116	356	(686)	1,918	(61)	13,741	(3,855)	9,886

- (注) 1. 「ソーシアルシステムズビジネス」には、ソーシアルシステムズ・ソリューション&サービス・ビジネスカンパニーおよび アドバンスト・モジュール・ビジネスカンパニーが含まれます。
 - 2. 「その他」には、事業開発本部およびその他の部門が含まれます。

2. 所在地別セグメント情報

17年3月期第1四半期(自平成16年4月1日 至平成16年6月30日)

(単位:百万円)

	国 内	北米	欧 州	アジア他	計	消 去 又 は 全 社	連結
売上高および営業損益							
(1)外部顧客に対する売上高	92,217	16,100	22,772	16,841	147,930	-	147,930
(2)セグメント間の内部売上高	21,429	172	131	12,385	34,117	(34,117)	-
計	113,646	16,272	22,903	29,226	182,047	(34,117)	147,930
営 業 費 用	100,313	15,395	20,633	26,960	163,301	(30,577)	132,724
営 業 利 益	13,333	877	2,270	2,266	18,746	(3,540)	15,206

16年3月期第1四半期(自平成15年4月1日 至平成15年6月30日)

	国 内	北米	欧州	アジア他	計	消 去 又 は 全 社	連結
売上高および営業損益							
(1)外部顧客に対する売上高	81,556	17,116	20,786	14,924	134,382	-	134,382
(2)セグメント間の内部売上高	19,762	55	185	9,653	29,655	(29,655)	-
計	101,318	17,171	20,971	24,577	164,037	(29,655)	134,382
営 業 費 用	91,718	15,815	19,226	22,856	149,615	(25,119)	124,496
営 業 利 益	9,600	1,356	1,745	1,721	14,422	(4,536)	9,886

4.販売の状況

比較連結セグメント別売上高明細表

(単位:百万円)

期別	17年3月期第1四半期 16年3月期第1四半期		<u> </u>			
	自平成16年	4月1日	自平成15年4月1日		前年同期比	
	至平成16年	至平成16年 6 月30日		至平成15年 6 月30日		
セグメント別	金 額	構成比	金 額	構成比		
		%		%	%	
インタ゛ストリアルオートメーションヒ゛シ゛ネス	63,979	43.2	54,477	40.5	117.4	
エレクトロニクスコンホ゜ーネンツヒ゛シ゛ネス	24,834	16.8	22,341	16.6	111.2	
オートモーティブ゛エレクトロニックコンホ゜ーネンツヒ゛シ゛ネス	14,913	10.1	14,593	10.9	102.2	
ソーシアルシステムス゚ ピ シ゚ ネス	26,474	17.9	25,648	19.1	103.2	
ヘルスケアヒ゜シ゜ネス	12,376	8.4	11,693	8.7	105.8	
そ の 他	5,354	3.6	5,630	4.2	95.1	
合 計	147,930	100.0	134,382	100.0	110.1	

- (注) 1 . 16年3月期第1四半期のソーシアルシステムズビジネスには、ソーシアルシステムズ・ソリューション&サービス・ビジネスカンパニーとアドバンスト・モジュール・ビジネスカンパニーが含まれます。
 - 2. 17年3月期第1四半期のソーシアルシステムズビジネスには、ソーシアルシステムズ・ソリューション&サービス・ビジネスカンパニーおよびファイナンシャル・システムズ・ビジネスカンパニーなどが含まれます。

中間期比較連結セグメント別売上高予想

(単位:百万円)

				(+	<u>ш. нили л</u>	
期別	16年9月中間期予想 15年9月中間期					
	自平成16年	自平成16年4月1日		自平成15年4月1日		
	至平成16年	至平成16年 9 月30日		至平成15年 9 月30日		
セグメント別	金 額	構成比	金 額	構成比		
		%		%	%	
インタ゛ストリアルオートメーションヒ゛シ゛ネス	125,500	41.8	110,605	40.9	113.5	
エレクトロニクスコンホ゜ーネンツヒ゛シ゛ネス	50,000	16.7	43,542	16.1	114.8	
オートモーティブ゛エレクトロニックコンホ゜ーネンツヒ゛シ゛ネス	30,000	10.0	28,224	10.4	106.3	
ソーシアルシステムズ ピッネス	58,500	19.5	53,658	19.9	109.0	
ヘルスケアヒ゜シ゜ネス	24,500	8.2	22,812	8.4	107.4	
そ の 他	11,500	3.8	11,351	4.3	101.3	
合 計	300,000	100.0	270,192	100.0	111.0	

- (注) 1 . 15年9月中間期のソーシアルシステムズビジネスには、ソーシアルシステムズ・ソリューション&サービス・ビジネスカンパニーとアドバンスト・モジュール・ビジネスカンパニーが含まれます。
 - 2. 16年9月中間期予想のソーシアルシステムズビジネスには、ソーシアルシステムズ・ソリューション&サービス・ビジネスカンパニーおよびファイナンシャル・システムズ・ビジネスカンパニーなどが含まれます。

通期比較連結セグメント別売上高予想

				+)	四・日/ハコノ
期別	17年3月期予想		16年 3 月期		
	自平成16年	4月1日	自平成15年	前期比	
	至平成17年	3月31日	至平成16年	削捌儿	
セグメント別	金 額	構成比	金 額	構成比	
		%		%	%
インタ゛ストリアルオートメーションヒ゛シ゛ネス	249,500	40.6	229,638	39.3	108.6
エレクトロニクスコンホ゜ーネンツヒ゛シ゛ネス	108,500	17.6	88,988	15.2	121.9
オートモーティブ゛エレクトロニックコンホ゜ーネンツヒ゛シ゛ネス	62,000	10.1	58,824	10.1	105.4
ソーシアルシステムス゛ピシ゚ネス	115,000	18.7	135,997	23.3	84.6
ヘルスケアヒ゜シ゜ネス	51,500	8.4	46,962	8.0	109.7
そ の 他	28,500	4.6	24,480	4.1	116.4
合 計	615,000	100.0	584,889	100.0	105.1

- (注) 1 . 16年3月期のソーシアルシステムズビジネスには、ソーシアルシステムズ・ソリューション&サービス・ビジネスカンパニーとアドバンスト・モジュール・ビジネスカンパニーが含まれます。
 - 2 . 17年3月期予想のソーシアルシステムズビジネスには、ソーシアルシステムズ・ソリューション&サービス・ビジネスカンパニーおよびファイナンシャル・システムズ・ビジネスカンパニーなどが含まれます。